

定住促進助成・住宅リフォーム助成

7973万円

人口減少を抑制するために、町内に住宅を新築した方や中古住宅を購入した方に助成し、131人（うち中学生以下49人）が定住しました。

また、住宅の増築や模様替えなどの改修工事を実施した方に、工事費の一部を助成しました。

- 定住促進実績新築住宅33件 中古住宅4件
- 住宅リフォーム実績 94件



令和2年度の 主要事業

令和2年度に実施した主な事業の内容をご紹介します。

その他の事業については、町ホームページでお知らせしています。

木質バイオマスボイラーの設置と運営

3億6215万円

昨年5月から今年3月にかけて、ふるさと公園敷地内に熱供給センターを設置しました。今年4月から、センター内にある木質バイオマスボイラーで、スポーツセンター、温水プール、グリーンパークしんとつかわに熱供給をしています。



スマート農業機械の購入助成

4117万円

農作業の効率化と省力化を目的としたスマート農業を推進するために、GPS直進アシスト機能付き田植機32台、農薬散布用ドローン66台の購入費用を助成しました。



商工会への支援・商工事業者への緊急支援

1億1315万円

商工会が実施するスタンプラリー事業に対して助成したほか、新たなポイントカードシステムの導入に対する助成を行い、町内消費の拡大を図りました。

また、割引クーポン券の発行などにより、新型コロナウイルスの影響による売上減少に直面する事業者を支援しました。



有害鳥獣の駆除

744万円

有害鳥獣による農業被害防止のため、被害額が最も多いエゾシカの駆除を猟友会に委託し、258頭を捕獲しました。

アライグマについては、重点捕獲期間中の捕獲報奨金の増額効果などで349頭を捕獲しました。



外国語教育の充実、GIGAスクール

5555万円

小学校で外国語授業時数が増加したことから、外国語指導助手を2人体制としています。

また、国の「GIGAスクール構想」に基づき、小中学校内の通信ネットワークを整備するとともに、児童生徒に1人1台のタブレット500台を導入しました。



高校生までの医療費全額助成

1912万円

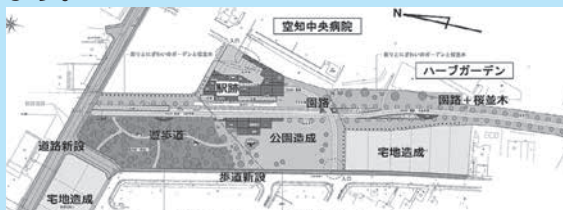
医療費による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、高校生までの保険診療分医療費の全額助成を継続しました。



新十津川駅周辺の跡地整備

3055万円

JR札沼線廃線後の新十津川駅周辺の跡地を、終着駅の記憶を残すとともに町民の憩い・交流の場となる公園に整備するため、測量などを行いました。公園は、令和3年度から5年度までの3カ年計画で整備を進めています。



ごみの処理・収集

5076万円

農村地区の一般ごみの回収方法を、一部を除き、拠点回収から戸別回収に変更しました。

また、ごみの減量化への取り組みとして、綿製品、家庭用廃食用油、小型家電製品の無料回収、行政区や子ども会などが行った資源ごみ回収への支援を行い、リサイクルを推進しました。



役場新庁舎への建て替え

17億8817万円

平成31年3月から新庁舎の建設工事を行い、昨年12月に完成しました。今年5月の大型連休中に引っ越しを行い、新庁舎での業務が始まりました。前庭の工事は、令和4年6月の完了を予定しています。



防災行政無線のデジタル化

1億8646万円

防災行政無線のデジタル化に伴い、役場新庁舎に放送機械を設置し、屋外スピーカー送信機器と各家庭の戸別受信機をデジタル機に交換しました。

